

Health & Safety

News for your life from YAMAGATA UNIVERSITY HOSPITAL...

山形大学病院ニュース

号外

2003年7月

NEWS I

山形大学医学部

21世紀COEに 採択される

二十一世紀COEの採択課題が七月十七日に発表され、医学分野では148課題中35課題が採択されました。

これにより山形大学からの提案である「地域特性を生かした分子疫学研究」が採択され、今後五年間研究助成金が交付されます。

本附属病院の各診療科、看護師の多大な努力により、二十四年前から順次、舟形町、川西町、寒河江市、高島町、白鷹町で糖尿病（網膜症、腎症を含む）、脳卒中、虚血性心疾患などの生活習慣病やパーキンソン病、肝疾患の住民検診が行われていますが、その成果が評価されたものです。これらの世界的に貴重な臨床データに遺伝子多型解析という先端バイオ技術を取り入れて、生活習慣病等の予防や治療に役立て、さらに

ゲノム創薬に発展させようとするものです。将来的には加藤丈夫教授

（第三内科）、久保田功教授（第一内科）の言われるバイオバレー構想に繋がることを期待されます。遠藤政夫医学部長、嘉山孝正病院長は新しい大学院構想とリンクして分子疫学研究者を育成していくと夢のあるビジョンを打ち出しています。

最後に、もつとも重要なことです。本拠点研究の成果はやはり地域の住民の方々に還元していくことを最大の目標として遂行されることを肝に銘じたいと思います。

文責

第二内科

河田 純男

